

岡田真理 氏 講演会

物語が生まれる最前線!

プロの『書く仕事』の

スポーツの世界 日常と裏側



プロデューサーとしての脚本

小説やドラマはどのように生まれるのでしょうか。

スポーツライター、作家、脚本家として活躍する岡田真理さんが、

創作の現場や取材の裏側、ことばを紡ぐ仕事の魅力について語ります。

フィクションからノンフィクションまで幅広い経験をもとに、

プロの「書く仕事」のリアルに迫る講演会です。

取材
ノンフィクション



令和8年 8/22(土) 10:00~11:30 (開場9:30)

定員: 80人(無料)

会場: 静岡市立中央図書館 2階ホール (静岡市葵区大岩本町29-1)

※図書館の駐車場は時間制限があります。ご来館の際は、公共交通機関等をご利用ください。

岡田 真理 Mari Okada

静岡市生まれ、静岡大学附属小・中学校、静岡高校、立教大学卒業。プロ野球を中心としたスポーツ取材・執筆のほか、小説やテレビドラマの脚本を手掛ける。デビュー小説『ぬくもりの旋律』(河出書房新社)で 2024 年静岡書店大賞小説部門大賞を受賞。2025 年 1 月期 TBS 日曜劇場『御上先生』に脚本協力として参加。フィクションとノンフィクションの両分野で培った経験をもとに、多彩な表現活動を展開している。

【申し込み】

こちらの二次元コードから

7/23(木)
9:30~
(申込順)



【問い合わせ】 静岡市立中央図書館 電話 054-247-6711